

## 山下公園レストハウスの利活用についてのサウンディング型市場調査（対話1回目） 実施結果

### <結果概要>

- 1 対話期間  
令和2年8月5日から8月26日
- 2 参加事業者数  
18 法人又は法人のグループ
- 3 対話方法  
全て直接対話方式により実施
- 4 提案・意見の概要
  - (1) 山下公園の立地特性や魅力
    - ・ 海に面した景観等に魅力があり、歴史と知名度のある横浜を代表する観光地であると認識されていました。
    - ・ 近隣に居住エリアがあり、観光客とともに、住民の利用も盛んなことが特徴的であると認識されていました。
  - (2) レストハウス利活用のコンセプト
    - ・ 約4割の事業者から、観光利用と市民利用の両方のニーズに応える利活用が望ましいとする提案がありました。
    - ・ 横浜の魅力発信の場としていく提案も約3割の事業者からありました。
    - ・ レストハウスを来訪の目的地とする提案も約2割の事業者から示されました。
  - (3) レストハウスの利活用
    - ・ 全ての事業者から、利活用の用途（業態）に飲食又は物販を含む提案があり、かつ約8割の事業者が、**飲食又は物販を主たる用途として提案**されました。
    - ・ 全ての事業者が、主たる用途による単一利用ではなく、**他の用途との複合利用が適当**であるとの認識を示しました。
    - ・ **他の用途の提案としては、無料休憩所が約8割と最も多く**、そのほか、観光案内機能（約3割）、イベントスペース（約2割）、アウトドア活動のサポート拠点（約2割）等がありました。
    - ・ 約3割の事業者から、緑や花によるガーデン風の内装づくりの提案がありました。
    - ・ 無料のサービスとしては、約3割の事業者がWi-Fiや電源の提供を提案されました。
  - (4) 周辺園地の利活用
    - ・ 約7割の事業者から、**テラス席を設置**する提案がありました。その半数近くから、設置したテラス席を自由利用とすることの意向が示されました。
    - ・ 約3割の事業者からは、テラス席に庇等の設置提案がありました。

- ・ 約2割の事業者から、バーベキュー場やキッチンカーの設置提案がありました。
- ・ 建物を建設し、様々な用途を導入する提案も約2割の事業者からありました。
- ・ 一時的な利活用としては、約7割の事業者が**イベント実施の意向**を示したほか、山下公園で実施されるイベントと連携した賑わいづくりの提案も約4割の事業者からありました。

(5) 公園管理への関わり

- ・ 隣接トイレについて、約6割の事業者から、従業員あるいは業者委託により、**清掃や物品補充等の管理を担える**との認識が示されました。
- ・ 周辺園地についても、約6割の事業者から、**日常的な清掃は可能**との意向が示されました。

(6) 事業期間の想定

約6割の事業者から、**10年間以上の事業実施**の意向が示されました。約4割の事業者は、5年間以下を希望されました。

(7) 「新しい生活様式」を見据えた工夫

- ・ 約4割の事業者から、店内飲食とともにテイクアウト方式を導入する提案がありました。
- ・ 店内に緑や花を配置することなどによる空間の確保、非接触販売等のIT技術の活用及びテレワーク需要に対応したスペースやサービス提供が、いずれも約3割の事業者から提案されました。

(8) 市内事業者の活用

全ての事業者から、店舗運営、食材調達、商品販売、内装工事等の発注を通し、**市内事業者を活用する**意向が示されました。

(9) 公園管理者（横浜市）への要望

活用可能な設備及びインフラの提示、公園使用料等の負担軽減、公募条件の設定に関する事項等、様々な要望がありました。

5 対話結果の受止め

山下公園は、観光地であるとともに市民の憩いの場であり、朝は散歩やランニング、平日の日中は就業者の休憩、休日は観光といった姿が見られ、様々な目的で利用されています。このことを踏まえ、レストハウス利活用にあたっては、多様なニーズに対応していくために複数の用途（機能）を備えることが必要と考えています。

周辺園地を含めたレストハウス自体が来園の目的地となり、山下公園の新しい過ごし方を発信できれば、公園全体の更なる魅力アップにつながっていくと感じました。

6 今後の予定

今回の対話結果を参考に具体的な公募条件（案）の検討を進めます。

令和2年度内に、公募条件（案）を提示した2回目の対話を実施予定です。

## <対話項目ごとのご提案・ご意見>

※ 複数の事業者から同様のご提案・ご意見をいただいた場合は、ひとつにまとめて記載しています。

対話項目	ご提案・ご意見
山下公園の立地 特性や魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観がよい。</li> <li>・ 港や海の景観</li> <li>・ 都市と海の一体感に優れている。</li> <li>・ ふ頭や海と既成市街地の結節点</li> <li>・ 観光客も多く、横浜ならではの景観を楽しむことができる。</li> <li>・ 観光客も多く、風光明媚なシンボリックな公園</li> <li>・ 歴史もあり、人が集まりやすい場所</li> <li>・ 横浜のシンボルであり、歴史も知名度もある。</li> <li>・ 横浜を象徴するランドマーク的な場所</li> <li>・ 震災復興の象徴としての歴史性</li> <li>・ 歴史的な背景を持つ公園</li> <li>・ 駅や海も近く、知名度もある。</li> <li>・ 山下公園という一つのブランドになっている。</li> <li>・ 国内における知名度は高いが、ポテンシャルを生かし切れていない。</li> <li>・ 最も有名な公園</li> <li>・ 観光地が集中している中に立地</li> <li>・ 横浜の代表的な観光地として定着</li> <li>・ 周辺観光誘客の結節点</li> <li>・ 商圏の半分が海であるが、周辺の住民、就労者に加え、観光客の利用も望める。</li> <li>・ 観光地でありつつ、地元利用者も多い。</li> <li>・ 観光地であると同時に市民活動の場としても親しまれている。</li> <li>・ 市民の憩いの場</li> <li>・ 近隣住民の憩いの場としても利用</li> <li>・ 平日は朝と夕でも利用者が違う。</li> <li>・ 地元だけでなく広域からも来園者が多い公園</li> <li>・ 管理が行き届いている。</li> <li>・ 綺麗に整備されており、様々な野鳥も魅力</li> <li>・ 海辺で花と緑を訴求している公園</li> <li>・ 古き良さを持った公園</li> <li>・ 西洋庭園のイメージ</li> <li>・ 交流や賑わいの面で、まだ十分活用されていない印象</li> <li>・ 滞在時間が短い公園</li> <li>・ 涼をとる場所が少なく、長時間の滞在がしづらい。</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
<p>レストハウスの利活用のコンセプト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四季を花と緑で感じられる場</li> <li>・ 日常生活に花や緑を持って帰ることができるような利活用ができればよい。</li> <li>・ 四季を通じて賑わい（観光）と憩い（地元）を提供</li> <li>・ 日常と観光のバランスを考える。</li> <li>・ 地元だけでなく、遠方からの来園者も利用できるような施設</li> <li>・ 観光客や近隣事業者をメインターゲットとした施設</li> <li>・ 観光客を視野に入れつつ、地域に根差し地域の方々をメインターゲットにしたコミュニティカフェづくり</li> <li>・ 住民、就業者、来街者の交流拠点</li> <li>・ 近隣の就業者や住民がターゲット</li> <li>・ 観光客と地元の両方が過ごしやすい公園になればよい。</li> <li>・ 時間帯によって利用者が変わり、それぞれの客層のニーズをくみ取っていく必要がある。</li> <li>・ 何をやる場所なのか、誰に向けてなのか、絞っていくべき。</li> <li>・ 公園利用者が多様であり、利用者層を絞らない活用がよい。</li> <li>・ 観光客の満足度を高めるものが必要（目的地化）</li> <li>・ 話題性のある場所として目的地となり、平日でも利用者が訪れるようにする。</li> <li>・ 山下公園の成り立ちである「復興」の象徴</li> <li>・ 山下公園ならではの独自性をアピールする。</li> <li>・ 山下公園での名物が作れたら横浜の盛り上げに貢献</li> <li>・ 横浜らしいストーリー性を持たせる。</li> <li>・ 横浜のショールームになるような場づくり</li> <li>・ 市全体のカルチャーを盛り上げていく場所になればよい。</li> <li>・ 広域的に賑わいをもたせるために、関内地区と連携</li> <li>・ 関内・関外地区の回遊動線となる施設にできると良い。</li> <li>・ MM地区も含めた散策等の回遊拠点</li> <li>・ 周辺観光施設との連携</li> <li>・ 公園の市民活動をサポートするアクティビティステーションとする。</li> <li>・ 公園で仕事ができることも新しい魅力につながる。</li> <li>・ with/after コロナ時代の新しい使い方</li> <li>・ with コロナに対応したアウトドアライフステーション</li> <li>・ ペット連れ利用者やペットに親しむ拠点</li> <li>・ 山下公園の一体性を感じられるイベントの拠点</li> <li>・ 公園の盛り上がりを生み出す。</li> <li>・ 内装を始め、取扱商品まで全てが自然素材でできており、自然界に還ることをセールスポイントにする。</li> <li>・ 市民の方々がつながり、心を通わせることができる店</li> <li>・ 飲食だけでは集客は難しいので、別のコンテンツを作る。</li> <li>・ 公園が横に長いので、レストハウスへの誘客の検討が必要</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
レストハウスの利活用の方法	
<p>主な用途や付帯する用途</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店</li> <li>・軽飲食</li> <li>・カフェ</li> <li>・カフェ（200 m<sup>2</sup>程度）</li> <li>・ベーカリーカフェ</li> <li>・喫茶店（200 m<sup>2</sup>程度）</li> <li>・来訪の目的地になりうる、その土地ならではの「食」の提供</li> <li>・対面非接触型自動販売カフェ（サイネージ機能や映像ディスプレイ機能を持つ最先端自動販売機を設置）</li> <li>・飲食物や土産等の自動販売機を設置</li> <li>・スイーツ販売</li> <li>・テイクアウトもできるようにする。</li> <li>・飲食や物販</li> <li>・飲食+物販（ネットショップ）</li> <li>・飲食は横浜名物の事業者と組めれば強みになる。</li> <li>・物販は、見本が展示してあり、それをインターネットで購入</li> <li>・飲食メインで付帯的に物販がある想定だが、持ち帰るとなると、花や緑の販売はハードルが高い。</li> <li>・横浜の土産やメーカー品等の展示・即売</li> <li>・植物を原料とした商品（脱プラスチック製品等）の物販・飲食店</li> <li>・飲食や物販は屋外で実施するので、建物内は調理場等のみ</li> <li>・購入と体験がセットになっているコンテンツは魅力がある。</li> <li>・コンテンツはオリジナルで体験型のものを用意</li> <li>・観光案内所の設置</li> <li>・イベントスペース（有償貸出）</li> <li>・イベントスペース（ギャラリー、スタジオ）</li> <li>・貸しイベントスペースを設置</li> <li>・ワークスペース</li> <li>・公園を利用するグループ等の交流サロンとしても活用</li> <li>・アウトドアライフステーション（コインロッカー、シャワー等）（80 m<sup>2</sup>程度）</li> <li>・ジョギングやサイクリング等のスポーツのサポート拠点</li> <li>・ランニングやヨガとのセット利用も可能</li> <li>・自転車を駐輪したそばでサービスを提供することが特徴</li> <li>・循環型社会の理念を体験する場</li> <li>・動物とふれあえるコーナーも設置</li> <li>・ペット連れの需要も見込む。</li> <li>・近隣オフィスの昼休みのニーズも見込まれる。</li> <li>・デリバリーの受取拠点</li> <li>・横浜産食材の宅配の拠点</li> <li>・デジタルサイネージによる市民活動応援掲示板を設置</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
レストハウスの利活用の方法	
<p>(続き) 主な用途や 付帯する用途</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内装は、インナーパークとしての雰囲気を出す。</li> <li>・ガーデン空間の中にあるショップをイメージ</li> <li>・室内を緑化し、それに用いている資材等を見本に販売することも想定される。</li> <li>・その店舗ならではの独自性を付加</li> <li>・付帯する用途として付加価値を持った活用が考えられる。</li> <li>・四季ごとに変わる付帯メニューの提供</li> <li>・面積が広すぎるので、一部を利用</li> </ul>
<p>無料で利用 できる用途</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩所</li> <li>・子供を始め、高齢者や障害者が気軽に利用できる休憩所</li> <li>・休憩スペースを用意することも可能</li> <li>・店舗以外の空間を休憩所として開放することも可能</li> <li>・イベントスペースは、休憩所としても利用</li> <li>・休憩所は、ワーキング利用や、観光客への情報提供が図れる場を想定</li> <li>・ワークスペースや子連れにも過ごしやすい空間を用意</li> <li>・平日は、気軽に使えるオフィスのような空間とする。</li> <li>・子供が安心して遊べる空間</li> <li>・ガーデンや花好きが集まってくるような場にできたらよい。</li> <li>・観光案内機能を備えたフリースペース</li> <li>・観光案内機能</li> <li>・デジタルサイネージによる観光情報等の入手</li> <li>・リモートコンシェルジュ（通信による観光案内機能）</li> <li>・Wi-Fi と電源を用意</li> <li>・レストハウス自前の通信網を整え、公園利用者に様々なサービスを提供</li> <li>・横浜の産地訪問ツアー等のデスク</li> <li>・荷物預かりサービス</li> <li>・「災害時帰宅支援ステーション」に登録</li> <li>・循環システムの展示コーナー</li> <li>・環境教育の場</li> <li>・ライブラリー（公園の歴史を伝えるもの）</li> <li>・授乳室</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
周辺園地の利活用の方法	
日常的な利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンカフェとしてテラス席を用意</li> <li>・テイクアウト利用者が過ごせるテラスを設置</li> <li>・自由利用できる屋外テラスを設置</li> <li>・ペット連れに対応したテラス席を設置</li> <li>・オープンテラスを設置し、カフェと一体感を持たせたい。</li> <li>・カフェの延長で多少改良を加えた屋外テラスを設置</li> <li>・テラスには屋根などを付ける。</li> <li>・ウッドデッキと庇を設置</li> <li>・雨除け、日避けを設置</li> <li>・建物周りに植栽を設ける。</li> <li>・修景施設を設置</li> <li>・海側に建物を延ばしてもよい。</li> <li>・建物を建築し、レストハウスと同様の用途で活用</li> <li>・海側のスペースは整備し、ワークスペース、足湯、ランニングステーションなどを想定</li> <li>・半屋外のようなワークスペース（ミスト、電源、Wi-Fi 完備）、子供の遊び場、モビリティ拠点を設置</li> <li>・事業の中心となるマルシェや屋台やバーベキューは、屋外で実施</li> <li>・スポーツ施設</li> <li>・キッチンカー等で焼き立てベーカリーやできたてスイーツを提供</li> <li>・キッチンカーの設置</li> <li>・施設利用者向けの自転車ラックの設置</li> <li>・展示ガーデン、カフェ、ドッグラン等</li> <li>・ペットに水の提供等も実施</li> <li>・レジャーシートや椅子の貸出</li> <li>・ヨガ、ピラティス等の屋外スポーツと飲食を組み合わせたメニューの提供</li> <li>・芝生広場でのスポーツプログラム（ヨガ、ピラティス）やグランピング体験、バーベキュー等</li> <li>・休憩所を充実させるため、その他の施設で収益をあげることが重要</li> <li>・真夏、真冬は日常的に利用するには検討が必要</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
周辺園地の利活用の方法	
単発的な利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具等のレンタルや季節に合わせたイベント</li> <li>・横浜のベーカリー企業等を集めたイベント</li> <li>・料理イベント等</li> <li>・イベント的に遊具を設置</li> <li>・無名のアーティストなどが発表できる場の提供</li> <li>・マルシェの開催</li> <li>・横浜産の農産物や加工品のマルシェを開催</li> <li>・青空市</li> <li>・ワークショップ、ヨガ、ボランティア活動</li> <li>・園芸のイベント、教室、ワークショップ、スポーツ、朝市など</li> <li>・フラワーアレンジメントなどのワークショップ</li> <li>・ヨガ、フィットネス等</li> <li>・野外映画会、芝生広場でのヨガ</li> <li>・絵本読み聞かせイベント</li> <li>・園内の広葉樹をライトアップし、幻想的な空間の演出</li> <li>・他事業者が実施するイベント開催時に荷物預かり等を実施</li> <li>・他の事業者が実施するイベント開催時に屋台を設け、商品を販売</li> <li>・他の事業者が開催するイベント時に、連携して盛り上げる。</li> <li>・イベント実施者を呼んでくることは可能</li> <li>・一定の規制緩和を前提としてイベントのマネジメント（誘致、調整、情報発信等）を検討したい。</li> <li>・緑化啓発イベントやガーデンネックレス横浜のPR</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
公園管理への関わり方	
隣接トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能</li> <li>・外観を統一し、内装も手を入れたいので、必要な管理は担う。</li> <li>・管理全体を担い、市民参加や女性向けサービスの充実を図る。</li> <li>・一体的に管理</li> <li>・運営店で管理</li> <li>・簡単な物品交換等のサポート</li> <li>・外部業者への委託により実施</li> <li>・テクノロジーを使った最適管理の実施</li> <li>・共益費的な管理経費負担は可能</li> <li>・清掃業者への委託はコスト面で難しい。</li> <li>・現状並みの負担は重い。</li> <li>・市による管理を希望</li> <li>・トイレの清潔さが施設の評価になる。</li> </ul>
周辺園地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能</li> <li>・日常的な清掃程度</li> <li>・一般的な範囲で協力可能</li> <li>・運営店で日常清掃程度を実施</li> <li>・周辺の清掃を店舗従事者か外部に依頼して実施</li> <li>・テクノロジーを使った管理の可視化</li> <li>・清掃イベント等の企画</li> <li>・清掃イベントがあれば参加</li> <li>・レストハウス周辺にイングリッシュガーデン的な装飾を施し、維持管理する。</li> <li>・植栽管理を担える。</li> <li>・夜間の安全対策として、防犯カメラを設置</li> <li>・ペットのフン専用のごみ箱を設置し、管理</li> <li>・周辺園地の利用に伴う収入を得られれば、応分の負担を検討したい。</li> <li>・難しい。</li> </ul>
事業期間の想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間</li> <li>・3～5年間</li> <li>・5年間</li> <li>・5年間以上</li> <li>・10年間</li> <li>・10年間以上</li> <li>・with コロナ期3～5年間+after コロナ10年間</li> <li>・10～20年間</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
<p>「新しい生活様式」を見据えた利用等の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食はテイクアウト中心</li> <li>・ テイクアウトをベースとして臨機応変な対応</li> <li>・ テイクアウトの強化</li> <li>・ テイクアウトは、店舗に入らずに利用できるよう工夫し、モバイルオーダーの仕組みも導入</li> <li>・ 物販はネットショップとして展開</li> <li>・ 講習会等もオンラインが可能</li> <li>・ 緑豊かな店舗空間とし、自然に距離が保てるように工夫</li> <li>・ 装飾的なもので自然と距離が確保できる空間づくり</li> <li>・ レストハウス内は、三密を避ける動線や空間になるよう工夫したサービス提供が望ましい。</li> <li>・ 座席の間隔を空ける。</li> <li>・ シールドを座席の間に設ける。</li> <li>・ 席はカウンター等にする。</li> <li>・ キャッシュレス、順番待ち管理の電子化など、非接触システムの導入</li> <li>・ テクノロジーの利用で、混雑度を可視化</li> <li>・ 高速通信網を用いた体温検知や混雑状況の発信、来園者の動線追跡機能の装備</li> <li>・ 個人利用でくつろげる席づくり</li> <li>・ 仕事利用のニーズに応え、音漏れしない個別ブースの設置</li> <li>・ 換気できる窓（網戸設置）や体温検知機の導入</li> <li>・ 屋内で無害な除菌ミストを噴霧</li> <li>・ 消毒液等の設置</li> <li>・ コロナ禍でペット需要が伸びているので、飼育マナーの啓発の場としても活用</li> <li>・ ジョギングやサイクリングによるツアーをマイクロツーリズムと捉える。</li> <li>・ 屋外（周辺園地）での事業実施を中心にする。</li> <li>・ 屋内も屋外のような使い方をする。</li> <li>・ 屋外にワークスペースを設置</li> <li>・ デリバリーの受取拠点を設置</li> </ul>
<p>市内事業者の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に市内事業者を活用</li> <li>・ 市内事業者との連携は自社の強みである。</li> <li>・ 市内事業者として、市内事業者間のつながりは強くしたい。</li> <li>・ 商品の開発、製造を市内事業者と連携する。</li> <li>・ 内装工事等を市内事業者に発注する。</li> <li>・ 工事発注等も含め市内事業者を活用</li> <li>・ 維持管理、清掃、設備メンテナンス等で市内事業者を活用</li> <li>・ デザイン、企画、運営の各分野で市内事業者を活用可能</li> <li>・ 地元事業者とフランチャイズ契約する方法も可能</li> <li>・ 活用も可能</li> <li>・ 市内事業者と連携したマルシェの開催</li> <li>・ 物販品目は地元商品を揃える。</li> <li>・ 地元（生産者、卸売）との連携を大切にする。</li> </ul>

対話項目	ご提案・ご意見
利活用にあたっての公園管理者（市）への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I H調理が可能な電気容量が確保されているか教えてほしい。</li> <li>・活用できる空調機器や電気容量等を確認したい。</li> <li>・修繕費の事業者負担の軽減</li> <li>・レストハウスの躯体で修繕が必要な部分は、横浜市で実施した上で引き渡してほしい。</li> <li>・初期投資の一部を支援してもらえると助かる。</li> <li>・イニシャルコストでの支援がほしい。</li> <li>・管理許可使用料の引き下げ</li> <li>・公園使用料はできるだけ抑えたい。</li> <li>・公園使用料は減免してほしい。</li> <li>・イベントのマネジメントを引き受ける際は、許可手続の簡略化など規制の緩和を希望する。</li> <li>・営業時間は条件として提示してほしい。</li> <li>・周辺園地で実施可能な行為を明示してほしい。</li> <li>・付帯事業やイベント開催は公募条件に含めないでほしい。</li> <li>・公募時は過度なプレゼン資料競争にならないようにしてほしい。</li> <li>・公募の応募資格は、大企業等も可能にする条件にしてほしい。</li> <li>・Park-PFI で実施したい。</li> <li>・運営開始後、既存のイベント実施者をつないでほしい。</li> <li>・高齢者、障害者、教育、花きなどの担当部署をつないでほしい。</li> <li>・ゴミの問題等で3Rの部署とつながっていききたい。</li> <li>・ソーラーパネル等を設置して自然エネルギーを採用できるとよい。</li> <li>・テクノロジーを使ったスマートシティと公園を結びつけられれば、最先端の考え方になる。</li> <li>・公園でのランナーへの苦情対策として、ランナーと憩いの場をゾーン分けするのも一つの手段</li> <li>・ガーデンネックレスのメイン会場として、公園の中央部とともにレストハウス側でも盛り上げてほしい。</li> <li>・園内にベンチが少ないので、市民参加（寄附）により設置したらどうか。</li> <li>・意見交換できる場があるとよい。</li> <li>・広報などは担ってほしい。</li> <li>・公園の目標設定や方針作りが共有できる場があればよい。</li> <li>・エリアマネジメントの視点があればよい。</li> <li>・ホームページを充実してほしい。</li> <li>・防犯対策を向上させてほしい。（防犯カメラの設置、夜間の明るさの確保）</li> <li>・施設自前の通信網の導入に当たり、市と協定を結ぶ必要がある。</li> <li>・レストハウスという名称は変更したい。</li> <li>・園地で自転車走行が可能になるとよい。</li> <li>・船を利用したサービスも実施したい。</li> <li>・水上でのアクティビティも実施したい。</li> </ul>

## ＜事業者からの質問に対する回答＞

### 1 建物関係

- ・ レストハウスの建替えはできません。原状回復を前提に、内・外装の変更は可能です。
- ・ 市によるレストハウスの躯体の改修は、現時点では想定していません。
- ・ レストハウスの屋上部分の利活用は想定していません。
- ・ 事業者の負担により、レストハウスとは別の建物を建設することは、条件次第で可能です。

### 2 営業関係

- ・ 基本的に毎日営業してください。
- ・ 取扱品目は、山下公園の雰囲気にあったものを希望します。
- ・ 居住エリアが近いので、音の発生には配慮を要します。
- ・ 周辺園地におけるイベントの実施可能エリアは、芝生広場あたりまでを想定しています。
- ・ 山下公園の来園者は、休日一日当たり 3～4 万人程度です。